

第23号

令和3年度上期
放生津地域振興会
発行責任者 宮島 伊佐夫

越の海

「射水交通安全協会 放生津支部 支部長就任 あいさつ」

このたび、射水交通安全協会放生津支部(以下支部)の支部長という大役を仰せつかりました。今春、射水交通安全協会(以下協会)の二上副会長が退任され、その代わりに杉田支部長が協会の副会長に就任される事となりました。放生津支部長が不在になる中で、その任を引き継ぐということで、令和3年5月28日の支部総会にて、支部長として承認されました。放生津校下の交通安全運動をリードすることとなり、緊張し身も引き締まる思いです。

現在、新型コロナウイルス感染症感染拡大の中、集まることもできませんが、支部の役員、各町内会代表の代議員の皆様とともに力を合わせ、明るく・元気に・根気よく、運動を展開していく覚悟でございます。皆様のご理解とご支援、ご協力をよろしくお願いすると共に、これまでの二上氏・杉田氏のご功績に感謝、お礼申し上げ、支部長就任の挨拶といたします。



射水交通安全協会
放生津支部
支部長 八嶋 浩久

放生津地域振興会「安全安心部」の活動スタート!!

まずは、校下23自治会の会長さんどうしの連絡伝達網を作ろう!と避難場所4か所「放生津小学校」「新湊中学校」「放生津コミュニティセンター」「リアン放生津」毎に、隊長・副隊長・班長を組織し、コミセン本部との電話による連絡網テストを実施しました。(4/17)

所要時間約15分かかったことに対し、よりスピーディーにLINEを利用すべきとの声が上がリ、8月時点で13名(組織内)の方とLINEでつながっています。

また、全国で取組が進んでいる安否確認運動「黄色いハンカチ作戦」を具体的活動として企画し、中町が4月から先行実施しました。月2回の黄色いハンカチ掲揚は現在も継続中です。(写真)

校下全世帯の「黄色いハンカチ作戦」を8/29市防災訓練の日に合わせて企画しましたが、コロナの影響で残念ながら中止としました。

黄色いハンカチは、「助けてほしい人」と「助けたい人」を結ぶ「命の合図」
黄色いハンカチは、うちの家族はみんな大丈夫!!の合図です。

コロナが落ち着いたら、再チャレンジしたいと思います。

安全安心部 本部長 宮崎哲郎



中町黄色いハンカチ作戦の様子 ▼▶



射水市
花と緑の銀行
放生津支店だより

立町曳山御蔵横
きれいに咲きました!



立町花壇の様子

地域支え合いネットワーク事業について

● 5月27日(木)

ミニ講座「フレイルについて」



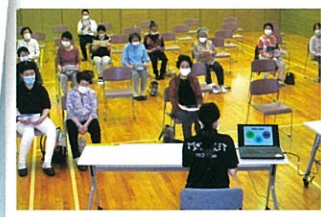
百歳体操

〈獅子絵田「りんどうの会」の様子〉



● 6月10日(木)

ミニ講座「コロナワクチン
接種について」



みんなの 生涯学習・学級講座

高齢者学級

● 4月28日(水)「スマホ体験教室」

俗にいう、ガラケーを現在お持ちの方々を対象に、今回は、ソフトバンクの講師の方に来て頂き、スマホの初歩の使い方を体験しました。

右側の方から左側の方への電話のやり取りや、画面のタップ、スライドといった新しい言葉に一喜一憂というワイワイとした雰囲気の中、皆さん熱い時間を過ごされました。



生涯学習事業

●6月17日(木)「簡単エアロビクス」



「な～ん、ついてかれん」「もう少し、簡単ながにして～」ロク々にワイワイ言いながら皆さんちゃんと最後までマスターされました。

高齢の方もおられ、心配していたのですが、皆さんそれぞれ自分のペースで参加しておられました。終わった後は、気持ちのいい汗をかきやり切ったという表情で、無事に予定していた時間を終えました。

●7月12日(月)・7月13日(火)

「べいぐるんに乗ろう！」



市民・観光客と施設・観光スポットをつなぐ新たな地域公共交通として、電気自動車(べいぐるん)を活用した実証運行が行われていたため、実際に乗って体験をして頂き、市の担当者からも、予約の仕方などを教えて貰いました。



女性学級

●7月5日(月)「折り紙教室」



「クレマチス 立体造形」



全て、先生がセットにして下さり、直ぐに作業に取り掛かることが出来ました。

しかし、「どーすんがけ～」「先生、こっち来て～」の嵐。先生も「これ、ちごねけ!」「あ～こんながしたら、あかんねけ!」とても賑やかな雰囲気の中、なんとか皆さん仕上げていかれました。

●7月10日(土)「金箔張り体験」

(共催 放生津母親クラブ)



大越仏壇の方を講師に招き、お箸に金箔を張りました。貴重な体験をして嬉しくもあり、出来上がった作品は大切に使おうと思いました。



青少年学級

●8月2日(月)「バルーンアートで遊ぼう！」

富山市のブルーラビットさんを講師に招き、プロのバルーンアートを鑑賞した後、実際に熱帯魚やタコの作り方を教えて貰いました。



仕上げの過程はとても大変でしたが、どの子も、目を輝かせて取り組んでいました。仕上げた後は、「つくったど～!」という満足した表情で満ち溢れていました。



●8月2日(月)「栄養ってなんだ!?!」

(共催 射水市食生活改善推進協議会)



「栄養の三大要素って知ってる?」身近な食材をヒントに子ども達に解りやすく語りかけをしました。キッズ用の教材を使って、食に対する興味が湧くように参加型にもしました。

放生津の 曳山御蔵

東町



東町曳山 格納庫

- ① 建設年月
平成4年10月（1992年10月）
- ② 建設金額
2,350万円
- ③ 世帯数（建設当時）
東町東部183戸、東町西部42戸、
倉屋敷13戸 計238戸



以前から、地元住民の「新しい曳山格納庫を作りたい」との願いがありました。折よく、現在格納庫になっている場所に住宅のあった方が市外に引越しをされるとのお話があり、跡地を購入させていただきました。

1年間ほどの準備期間を経て格納庫の建設に取り掛かりました。建設委員会は、委員長 堀井義勝、副委員長 明弥七、下村富重、高木松一氏らで、資金は積立金、篤志寄付、借入金によって賄い、東町東部自治会、東町西部自治会、倉屋敷自治会の住民の方々の協力により平成4年10月の完成となりました。

曳山を組み立てたままで納められる格納庫では初期の建設だったため、後に建設された最新式の格納庫と比べるといささか劣るのが残念ではありますが、東町の曳山格納庫の建設は、当時の先駆けであり、町民、曳き子の自慢となりました。

今後は、格納庫の間口等を改修して他の町に劣らないものにしたいと思えます。

広報潮風では毎回放生津地区の「曳山御蔵」の紹介をしています。町の曳山御蔵をお守りされている方からの投稿をお待ちしています。

地域行事中止のお知らせ

未だ収束の兆しが見えて来ない新型コロナウイルスの感染が続いている状況の中、地域行事の「敬老会」「放生津校下文化祭」「住民ふれあいの集い」は今年度の開催も中止とさせていただきます。

毎年、地域の大勢の皆様が楽しみにしておられる行事が開催できないことは大変残念ではありますが、参加される皆様の安全を考慮しまして中止決定させていただきました。

来年度以降また皆様と一緒に盛大に開催出来ることを願っています。



新型コロナウイルス感染対策を 地域のみなさんで考えましょう!

「地域の一人ひとりが防ぐ!」という意識

- × 自分ひとりくらい大丈夫だろう...
- × 少し熱や咳があるけど休むと迷惑になるし...
- × いつも〜してなかったけど、これまで大丈夫だったし...

- ◎ 手を洗う、咳エチケットを守る
⇒生活の基本
- ◎ 熱や下痢などの症状があったら休む
⇒療養の基本
- ◎ 受診は平日の日中にする
⇒受診の基本
- ◎ 地域のみんが「うつさない!」
と考えることが大切です!



コロナの感染拡大の中で賛否両論があった東京オリンピック・パラリンピックが開催されました。日本選手の大活躍により、コロナ自粛で気分的にも沈みがちな日常を楽しませてもらいました。特にパラリンピックはオリンピックとはまた違った感動を覚えました。様々な障害を抱えた選手たちが、車椅子や義手足を使っている姿は見るものに人の強さと無限の可能性を示しているようです。足に障害のある選手の中には怪我や事故など原因によるものだそうです。突然に足を失った時の気持ちは、それこそ絶望のどん底であったと思います。それを乗り越えてパラリンピックに出場し力いっぱいプレーする姿には、私たちに想像もつかない何倍もの忍耐と努力があった事と思えます。パラリンピックのアスリート達は、私達に困難があっても諦めない気持ちと、前向きに進んでいく生き方を教えてくれます。失われたものを数えるな、残されたものを最大限に生かせ。パラリンピックの父と呼ばれる医師ルードヴィッヒ・グットマン博士の言葉 (H・M)

編集後記

